

プログラム

2007年1月26日(金)

09:00- 宍道湖・中海バス見学

2007年1月27日(土)

09:00- 受付開始

09:00-10:00 ポスター発表及び企業展示準備

10:00-11:30 ポスター発表・展示

11:30-12:30 昼休み

12:30-13:00 開会式(本田雄一島根大学学長挨拶, 國井秀伸実行委員長挨拶)

13:00-14:00 基調講演

「集水域と沿岸域のプロセスに関する地域住民活動を統合した沿岸域湿地の再生と持続的な管理 - チリカ湖の事例」

アジット・パトナイク(前チリカ開発局局長, インド)

14:00-14:30 招待講演

「ソクラー湖における土地利用の変化とその影響」

チャンチャイ・タナウッド(プリンスオブソクラー大学, タイ)

14:30-15:00 招待講演

「ニュージーランドにおける河口域の効果的な再生のための論点と指針の概要」

カリン・ロジャース(地質・核研究所, ニュージーランド)

15:00-15:15 休憩

15:15-16:45 汽水域重点プロジェクト発表パート1

「中海における赤潮の分布パターンと貧酸素化」

瀬戸浩二(島根大学汽水域研究センター)

「衛星リモートセンシングによる宍道湖・中海の環境観測」

古津年章(島根大学総合理工学部)

「土地の劣化が汚濁負荷物質の流出に与える影響評価と面源負荷の削減提案」

森 也寸志(島根大学生物資源科学部)

「斐伊川水系の重金属元素分布の特徴」

松本一郎(島根大学教育学部)

「飯梨川流域における水質の空間分布」

宗村広昭(島根大学生物資源科学部)

「現場簡易分析法の開発と環境水の水質」

奥村 稔(島根大学総合理工学部)

16:45-17:00 休憩

17:00-18:00 汽水域重点プロジェクト発表パート2

「宍道湖・中海のサプロペル：サプロペル有機物濃度の制限要因

三瓶良和（島根大学総合理工学部）

「湖沼底質の造粒化と覆砂としての利用」

増永二之（島根大学生物資源科学部）

「解体コンクリートを再利用した汽水域底質改善材の開発」

桑原智之（島根大学生物資源科学部）

「停滞・閉鎖性水域における生物多様性空間の創出技術」

野中資博（島根大学生物資源科学部）

18:30-20:30 懇親会

2007年1月28日（日）

09:00- 受付開始

09:30-11:00 企業口頭発表

ウェスコ，ベストマンシステム，カナツ技建工業，イズコン，
エコマ商事，松江土建，アレック電子，環境システム

11:00-12:30 ポスター発表・展示

12:30-13:30 昼休み

13:30-15:30 島根・鳥取両県の多様な主体による事例報告

「中海水環境再生のために - 温故知新-」

石飛 裕（島根県保健環境科学研究所）

「鳥取県における中海再生に関する取り組み -生態系機能のワイズユース-」

南條吉之（鳥取県衛生環境研究所）

「素晴らしい中海を取り戻す！」

石倉正夫（中海漁業協同組合）

「宍道湖・中海を用いた環境学習について」

島根県立宍道湖自然館ゴビウス

「宍道湖・嫁が島を中心とした環境保全活動」

NPO 法人まちづくりネットワーク島根

「よみがえれ中海！コアマモ・アマモ再生を通じた中海再生プロジェクト」

特定非営利活動法人 未来守りネットワーク

「中海再生プロジェクトの経緯と今後」

上田和泉（中海再生プロジェクト事務局）

「中海の自然再生」

徳岡隆夫（自然再生センター）

15:30-15:45 閉会式（高安克己島根大学副学長挨拶）